

BCAO仙台地域勉強会（2020年7月3日）議事録
（「企業・組織のBCP／防災勉強会@仙台」と合同開催）

1. 日 時：2020年7月3日（金）17時より18時30分まで
2. 場 所：ZOOM
3. 参加者：計17名
*事務局：丸谷（座長）、丸谷研究室 伊藤

議事①：「新型コロナウイルス感染症を踏まえたBCPの方向性について」

東北大学 災害科学国際研究所 丸谷
添付資料について説明

議事②：「新型コロナウイルスの経験に基づくBCP見直しのポイント」

○質疑応答（Q：質問 A：回答）

Q:新型インフルエンザのBCPは想定していたが、コロナウイルスはBCPで想定したものと違う対応が必要になった。感染症は、もっと短期間で終息するという見立てを立てていたため、短期的な対策しか考えていなかった。そのため、原材料などの備蓄も短期間の分しか用意していなかった。今回のコロナウイルスはまだ第一波も収束しておらず、想定していたスパンが見当外れだった。BCPの見直しを図りたいので見直しのポイントを伺いたい。

A:マスクや原材料の調達の情報収集の時期が遅かったのではないかと感じた。マスクのサプライチェーンまで意識している企業は少なかったと思う。

医療機関では1月の段階で、中国からの輸入が止まるという情報があった。製造に必要なもののサプライチェーンはおおよそ把握していると思うので、情報を早く取りに行く仕組みづくりが大切と感じた。

議事③：「新型コロナウイルス感染症で症状がない従業員と接触した時の従業員の対応」

○質疑応答（Q：質問 A：回答 C：コメント）

Q:厚生労働省の指針等も見ながら対応してきたところではあるが、ガイドラインでは感染者は症状が出る2日前から感染を広げる恐れがあるとしている。そのため感染者が出た場合には2日遡って濃厚接触者を特定し休業させることとしていたが、何日も症状の無い感染者が確認された。この場合は何日前に遡って濃厚接触者を探せばいいのか？

A:厚生労働省からの指針で、新型コロナの場合は発症の2日前から、新型インフルエンザの

場合は発症の24時間前から感染力があるとしている。しかし、若い人などは症状がないまま感染させている例もあるようなので、余裕があるようであれば、症状がなくても検査、休業させるようにと対応が変わっている。かといって感染が拡大すると、その余裕もなくなるのではないかと思う。

議事④：「総合防災訓練などコロナ禍の中で避難を想定した訓練の留意点について」

○質疑応答（Q：質問 A：回答 C：コメント）

Q:災害発生時、2000人規模で一か所の避難場所に避難する計画を立てている。また、避難者の確認を紙ベースで行うこととしている。この方法は感染リスクがとても高いと思われるので、防災訓練をどの様に実施すべきか悩んでいる。また、弊社は、災害発生時、非常対応者が何日か拠点に宿泊することとなっており、これまでは会議室の床で寝ることとしていたが、これも感染リスクが高そうである。

防災訓練や、災害後の事業継続の際に、どのように対応すべきか？

A:避難時の安否確認を集合整列させて行う形式をとるのは難しいので、対応を考えるように相談している。フェイスシールドも一案であるし、気にしないという割り切り方もあるかもしれない。

宿泊については、床での雑魚寝はせず、机の上であったり椅子であったりで寝ることになると思う。